

## 2025 年度寒ブリ漁況の見通しについて

2025 年 11 月～2026 年 3 月の県内主要定置網における寒ブリ（7kg 以上の大ブリ）漁獲量の予測

- ・ 豊度：日本海の寒ブリの南下群の豊度は、前年を下回るが、平年並みと予測されています。
- ・ 海況：日本海北部海域の100m深水温や佐渡沖の冷水域の張り出しは、平年並みと予測されています。
- ・ 本県の漁期開始は平年並みの11月中旬、漁獲量は記録的な不漁であった前年（12トン）を上回り、平年並み（90トン～326トン）と考えられます。

※ 平年並み：2年に1回程度あらわれる範囲

- 国立研究開発法人水産研究・教育機構（以下、機構）が公表している「日本海中部ブリ長期漁況予報」では、11月から翌3月までの新潟県～兵庫県における2歳魚以上の漁獲量は前年を下回るとしています。また、北上期の漁獲量は過去5年平均と同程度であり、寒ブリの豊度は平年並みと予測されます。
- 機構が提供している「改良版我が国周辺の海況予測システムFRA-ROMS II」では、11月中旬の初漁期における津軽海峡付近の100m深水温はブリが南下する目安となる水温14℃まで下がる予測となっています。また、日本海北部沿岸域の100m深水温は平年並みから低めと予測されていることから、漁期開始は平年並みの11月中旬と予測されます。
- 両津湾内の水温に比べて外佐渡海域の水温が低いほど、両津湾に來遊し定置網への入網が良好となる傾向があります。11月中旬の漁期開始期には佐渡の北方100m深に冷水域が広がる予測となっています。12月中旬の盛漁期には暖水域が南下し、冷水域の勢力は衰えますが、12月下旬には佐渡北方に再び冷水域が広がると予測されています。しかし、冷水域の佐渡への顕著な接岸は予測されないことから、來遊は平年並みと推察されます。

担当：新潟県水産海洋研究所 漁業課

専門研究員 丸山 克彦

TEL 025-261-2043

FAX 025-261-0335

## 1. 日本海へ来遊状況

◆2025 年度日本海中部ブリ長期漁況予報(11 月 11 日、国立研究開発法人水産研究・教育機構公表)  
一部抜粋

### 2 歳以上魚

- 予測対象海域における 2 歳以上魚の漁期は、5 月をピークとする 4~7 月と 12 月~翌 1 月をピークとする 11 月~翌 3 月である。2025 年 4~9 月の 2 歳以上魚(2023 年級群以上)の漁獲量は 1,696 トンで、前年同期(2,466 トン)を下回り、過去 5 年平均(1,933 トン)並であった。本種 2 歳以上魚は、予報対象海域に来遊・北上した後、予報期間に再度来遊するものと考えられており、4~9 月の漁獲量が多いほど予報期間中の漁獲量が多くなる傾向がある。したがって、2025 年 4~9 月の漁獲量は前年比 69%に留まったことから、今期の来遊量は前年を下回ると予測される。
- 太平洋側も含めた北海道周辺の親魚群は、主産卵場と想定される東シナ海に向けて南下回遊する。これまでの回遊履歴に関する調査研究から、この南下回遊する親魚群の一部は、予測対象期間・海域へも来遊すると考えられる。北海道周辺から日本海側への南下回遊と関連する環境情報としては、津軽暖流勢力の指標値<sup>1)</sup>がある。今期の津軽暖流勢力の指標値は 30.4 を示し、前年並である(前年比 95%)。なお、津軽暖流勢力の指標値の過去 5 年平均は 29.1 であった。しかしながら、近年の海洋環境は従来のもものと大きく異なっていることに強く留意する必要がある。2023 年から 2024 年にかけて過去に例を見ない程の黒潮続流の北偏が起こっており、太平洋を中心として平年より海水温が高い状況が確認されている<sup>2,3)</sup>。2025 年は黒潮大蛇行が終息したものの<sup>4)</sup>、平年より海水温が高い状況が継続している。この海洋環境の変動と予報海域への来遊の関係は明確となっていないが、太平洋側から日本海側への来遊量に影響を及ぼす可能性が考えられる。近年、津軽暖流勢力指標値と 2 歳以上魚の来遊の関係性が低下していることから今年度予報では津軽暖流勢力指標値は予報の根拠とはせず、参考値として扱った。

<sup>1)</sup> 深浦の沿岸水位から函館の沿岸水位を差し引いた津軽海峡の沿岸水位差であり(東京湾平均海面準拠、気圧補正、潮汐除去、15 日間平均; <http://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.488/137.021/&contents=tidelevel>)、津軽暖流の地衡流成分を想定している。2006~2020 年の同指標値の 7 月初旬~9 月中旬の平均値と、主要 3 県(新潟県、富山県、石川県)における 11 月~3 月の 3 歳以上魚の漁獲量との間で相関関係(相関係数=0.82)が確認されているが、近年(2006~2024 年)の相関関係は低下傾向にあり、相関係数は 0.41 となっている。

<sup>2)</sup> 2023 年度 第 3 回 東北海区海況予報([https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2023/files/2023touhoku\\_yohou.pdf](https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2023/files/2023touhoku_yohou.pdf))。

<sup>3)</sup> 気象庁報道発表(令和 5 年 8 月 9 日、[https://www.jma.go.jp/jma/press/2308/09a/20230809\\_sanriku\\_seatemp.pdf](https://www.jma.go.jp/jma/press/2308/09a/20230809_sanriku_seatemp.pdf))。

<sup>4)</sup> 気象庁報道発表(令和 7 年 8 月 29 日、[https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/etc/20250829\\_end\\_of\\_kuroshioLM.pdf](https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/etc/20250829_end_of_kuroshioLM.pdf))。

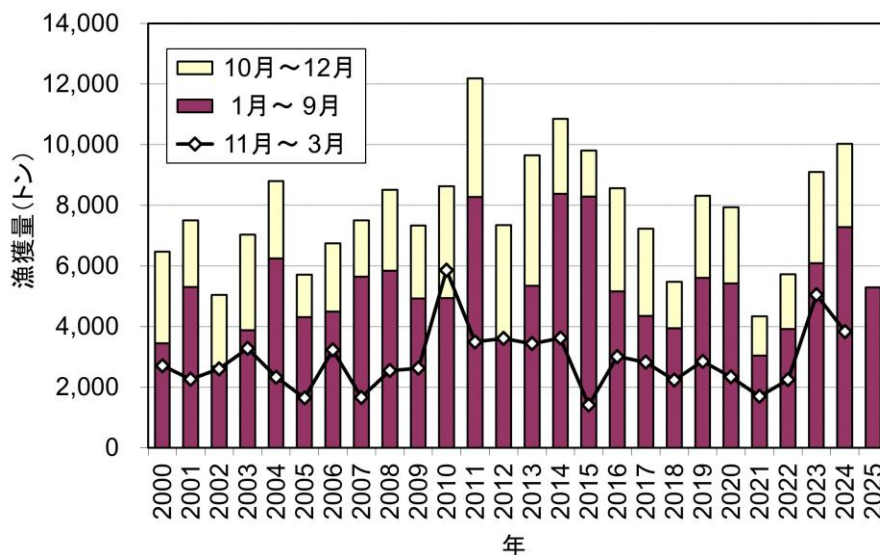


図1 新潟県～兵庫県の主要港におけるブリの定置網漁獲量の推移（2025年は9月まで）  
折線は予報期間と同じ11月～翌年3月の合計。

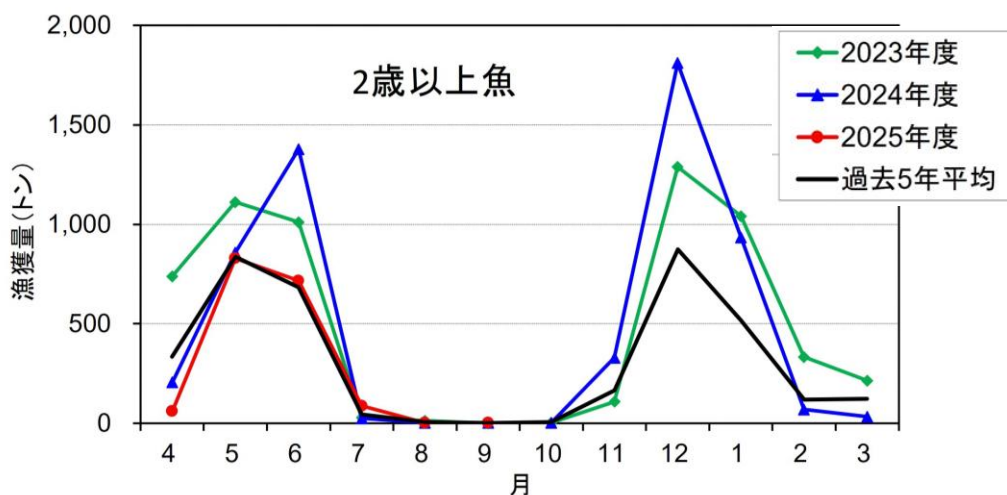


図2 2023～2025年度の新潟県～兵庫県におけるブリの定置網月別漁獲量の推移  
（2025年度は9月まで）

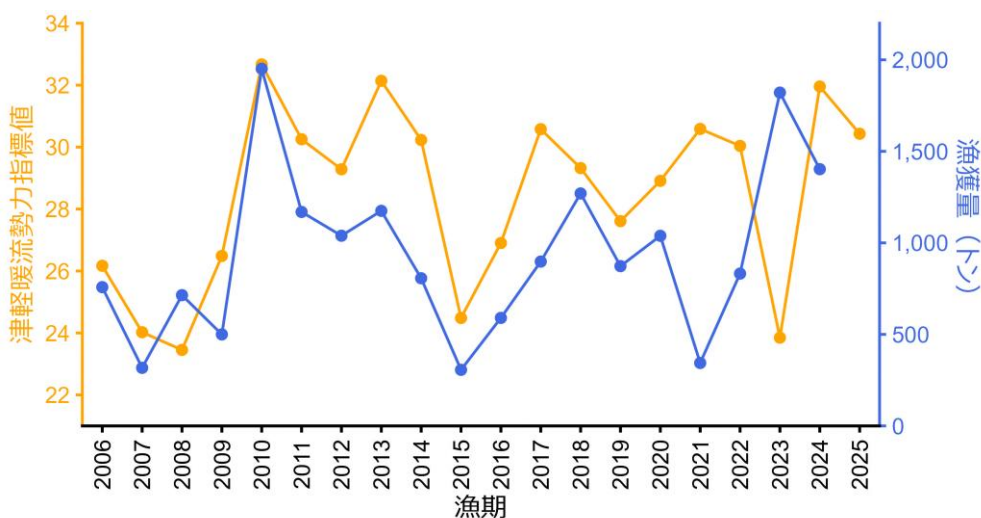


図3 津軽暖流勢力指標値と予報期間中の主要3県（新潟県、富山県、石川県）の3歳以上魚の漁獲量（11月～翌3月）の推移

## 2. 海況状況

### ◆国立研究開発法人水産研究・教育機構の改良版我が国周辺の海況予測システム FRA-ROMS II (11月6日時点の100m深水温予測図)

- ・ 漁期開始期の11月中旬の水温予想図では、津軽海峡付近の水温は寒ブリ南下の目安となる100m深水温14℃(青線)を下回る。日本海北部沿岸域の100m深水温は平年並みから低めと予測されていることから、漁期開始期は平年並みと予測される。
- ・ 11月中旬の漁期開始期には佐渡の北方に冷水域が広がり、盛漁期の12月中旬には暖水の南下にともない冷水域の勢力は衰えるが、12月下旬には佐渡北方に再び冷水域が広がる。しかし、冷水域の佐渡への接岸は顕著でないことから両津湾への来遊は平年並みと推察される。

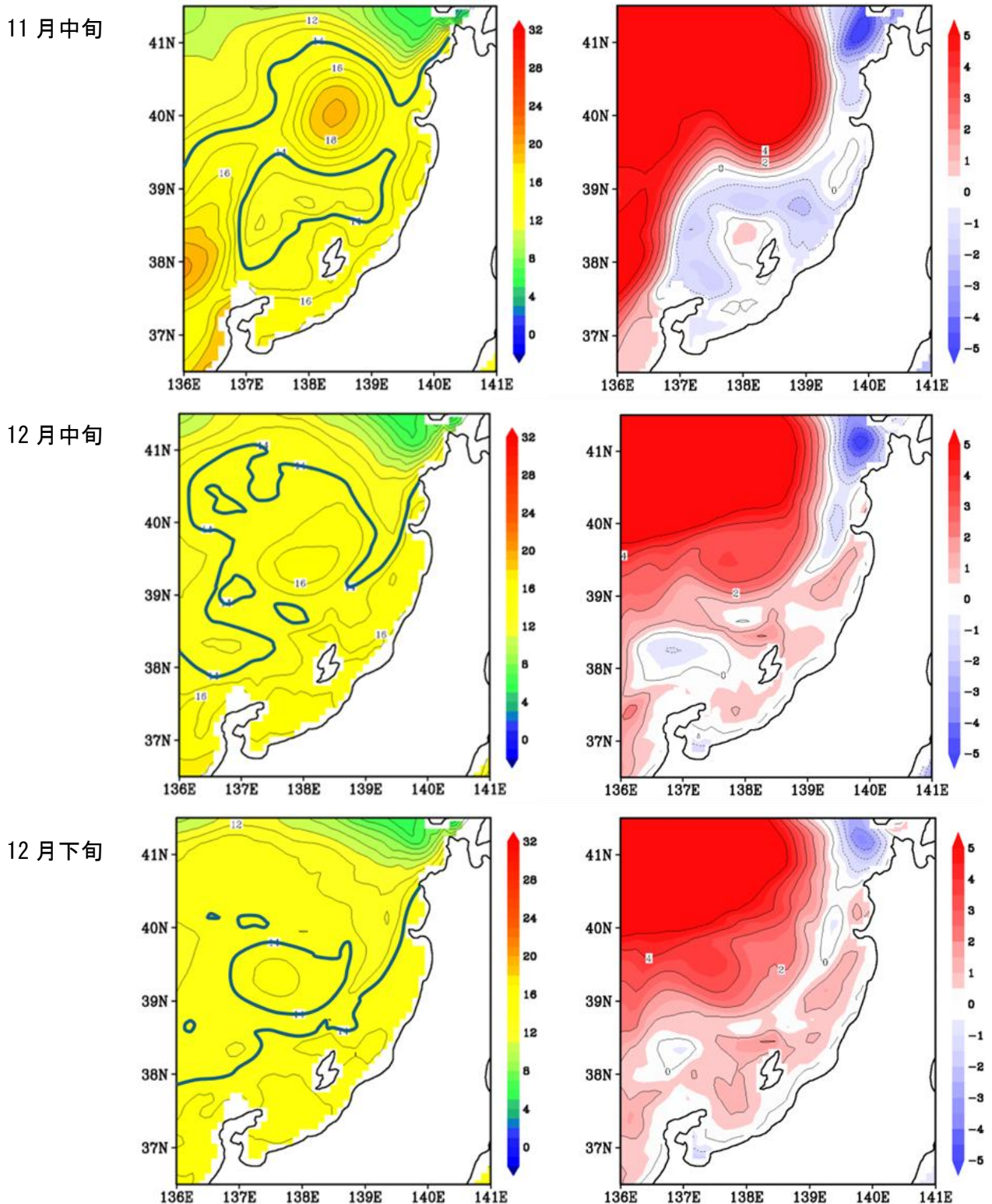


図4 100m深水温予測図(左)と平年偏差(右)